

環太平洋パートナーシップ参加国閣僚・代表声明
(仮訳)

2013年12月10日

シンガポール

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの閣僚及び代表は、シンガポールにおいて4日間の閣僚会合を終えたところであり、環太平洋パートナーシップ協定の完了に向けた実質的な進展が見られた。

この会合の間に、我々は、テキストの主要な残された課題の大部分について潜在的な「着地点」を特定した。我々は、これらのテキストの課題と市場アクセスの課題を仕上げるために、柔軟性を持って作業を続ける。

全ての参加国にとって、2011年にホノルルで設定された目標を達成する、野心的で包括的な高い水準の協定は、雇用を創出し、成長を促進し、各国の国民に機会を提供し、地域統合と多角的貿易体制の強化に貢献するために必要不可欠である。

したがって、我々は、今後数週間、そのような協定に向けた集中的な作業を継続することに決めた。また、我々は、ステークホルダーとの協議を促進し、自国の政治プロセスと連携する。

交渉官による追加的な作業に続いて、我々は、来月に再度会合を開催する予定である。